一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１０月２６日

議 会 議 長　　様

議席番号　　９　　番

議員氏名　　野　口　俊　彦

質 問 事 項	質　　問　　要　　旨	指 定 答 弁 者
１．町を動かす令和９年度予算編成方針は	窪田町長２期目就任のスタートとなる令和９年度予算編成の基本方針は「未来への歩みを踏み出す予算」と掲げたと伺っています。この力強いスローガンからは、町長が本気で町を動かそうとする意気込みが伝わってきます。そう感じるのは、私だけではないと思います。そして、町長がリーダーシップを発揮し、職員がワンチームとなって全力で予算編成に取り組んだものと推察します。 特に歳出においては、物価高騰に伴う諸経費の増加、社会保障関係経費の増加、公共施設の老朽化対策に係る経費の増加など、行政需要が年々拡大していることから、来年度の当初予算編成においても、財政調整基金を取り崩して歳入不足を補わざるを得ない厳しい財政状況が続くものと考えられます。 そこで、追跡シリーズとして、以下の点について伺います。 （１）町の財政状況の分析を踏まえ、令和９年度における予算編成方針を策定していると理解するが、特に、何に重点おいて策定されたのか。ポイントは何か。 （２）町長公約事業への予算の反映状況は。特に、中核病院誘致と下野久喜線の推進についてはどのように考えているのか。 （３）１０月頃に会派等からの予算要望書が提出されているが対応状況は。	町長 副町長 秘書広報課長 総合政策課長 担当課長

１０月２６日　午前　８時３０分 受理

質問事項	質　問　要　旨	指定答弁者
	（４）令和８年９月定例会の宮田議員並びに大橋議員の一般質問で町長は、「選択と集中を徹底すべく、全て　の事務事業に対して必要性や効果を検証し、ゼロベースによる抜本的な見直しを実施する。」と答弁した。 　また、予算編成方針では、「（３）新たな事務事業の総点検の実施」が掲げられている。この中では、「単に事業費の削減を目的とするのではなく、目的・必要性・効果、実施手法などを多面的に検証する。」とされている。さらに、「令和１２年度までの見通しを目標に進めるものとするが、令和９年度当初予算に反映できる見直しは積極的に取り入れること。」ともされている。これらを踏まえ、以下の点について伺う。 ① 新たな事務事業の総点検をどのように進め、どのような成果を得ようとしているのか。 ② 令和９年度に反映できるものはあるのか。 ③ 既に来年度、廃止の方向で検討している事業は、あるのか。 （５）令和８年９月定例会の一般質問において、町長は「経常的な確保として、新規創業や新規就農への支援による地域経済の活性化を図るとともに、子育て世代への支援を充実させ、子育てしやすく、住み続けたい選ばれるまちに取組み、税収基盤の拡大を図ります。」と答弁したが、来年度、その具体的な取組としての「新規　事業」は予定しているのか。町長に現時点での考えを伺う。 （６）久喜市では「財政緊急対策・再建宣言」が市長から発出されたが、当町は行財政の抜本的改革に取り組むまでの危機的状況ではないのか。町長の考え（方向性）について伺う。	